

## 日常点検

ご使用前に必ず点検を行い、製品に異常がないか、しっかりチェックしましょう！

- ① 外観に使用上支障をきたす有害な損傷がないか確認してください。
- ② ケーブルに傷、ひび割れ、膨れ、ヘコミがないか確認してください。
- ③ コンセント・プラグに損傷・汚れ・腐食・付着物がないか確認してください。  
(刃受け部の損傷・ゆるみ、プラグ刃の曲がり等)

ハタヤ2P/2P接地付フェイクプラグ及びニュートプラグの場合はアースピンや周動部がスムーズに動くか確認してください。動きの悪い場合はシリコンスプレーまたは浸透潤滑剤(無香性のみ)を塗布してください。



漏電遮断器付機種のみ

- ④ 漏電遮断器の動作テストを必ず行ってください。

## メーカー点検(有償※)

点検のご依頼はお買い求めの販売店までご連絡ください。

コードリールの劣化は外観だけではわかりません！

さらに安全にご使用いただくために

メーカーによる定期点検を承っております。

電気用品安全法に基づく弊社での主な検査実施項目



コンセント (保持力)	内部配線 (端子部の強度)	中筒ドラム (電線保持力)	絶縁耐力試験 1000V / 1分間(100V) 1500V / 1分間(200V)
絶縁抵抗試験 (アース・電源間)	導通試験・極性検査	漏電遮断器検査 (感度・速度他)	防雨検査 (防雨型製品のみ)

検査成績表を作成し、ご返却致します。 ※点検費用は機種により異なります。

## コードリールの交換の目安

様々な環境下で移動して使用されるコードリールは

損傷や経年劣化が進みやすいため、ハタヤでは

交換の目安を **使用開始から7年** としています。

**定期的に点検** を行い、古くなったコードリールは

**新しいものへ入れ替えること** を推奨しています。



※ご使用条件によってコードリールの劣化具合は異なります。7年の耐用年数は保証期間を意味するものではありません。

※備蓄用など購入後長期間使用していないコードリールも使用前に点検を行ってください。

## 株式会社ハタヤリミテッド 株式会社 畑屋製作所

ハタヤリミテッド本社 / 名古屋市中区大須四丁目10番90号 〒460-0011 TEL(052)261-3821(代)

畑屋製作所本社工場 / 名古屋市瑞穂区浮島町12番24号 〒467-0854 TEL(052)692-7211(代)

岐阜工場 / 岐阜県瑞穂市十八条586番3 〒501-0314 TEL(058)328-5700(代)

●東京支社 ●大阪支社 ●仙台支社 ●北関東支社 ●名古屋支社

●広島支社 ●福岡支社 ●札幌営業所 ●新潟営業所 ●岐阜物流センター

■関連会社

ハタヤオーケーエス株式会社 東京都大田区昭和島一丁目1番5号 〒143-0004

松栄興産株式会社 名古屋市瑞穂区浮島町12番24号 〒467-0854

顧客サービスデスク 0120-686-888 (通話料無料) ホームページ <https://www.hataya.jp>

2017.10 DNP 30 274

# HATAYA

メーカーからのお願い

しっかりチェックしてますか？

## コードリール | 定 | 期 | 点 | 検 | のススメ

正しく使って  
しっかり点検



**「あまり使っていないから大丈夫!」ではありません!**

コードリールを構成する部品にもそれぞれ寿命はあり、

**使用状況にも合わせた点検・交換** が必要となります。

本書を参考に、**ご所有のコードリールの点検** を行い、

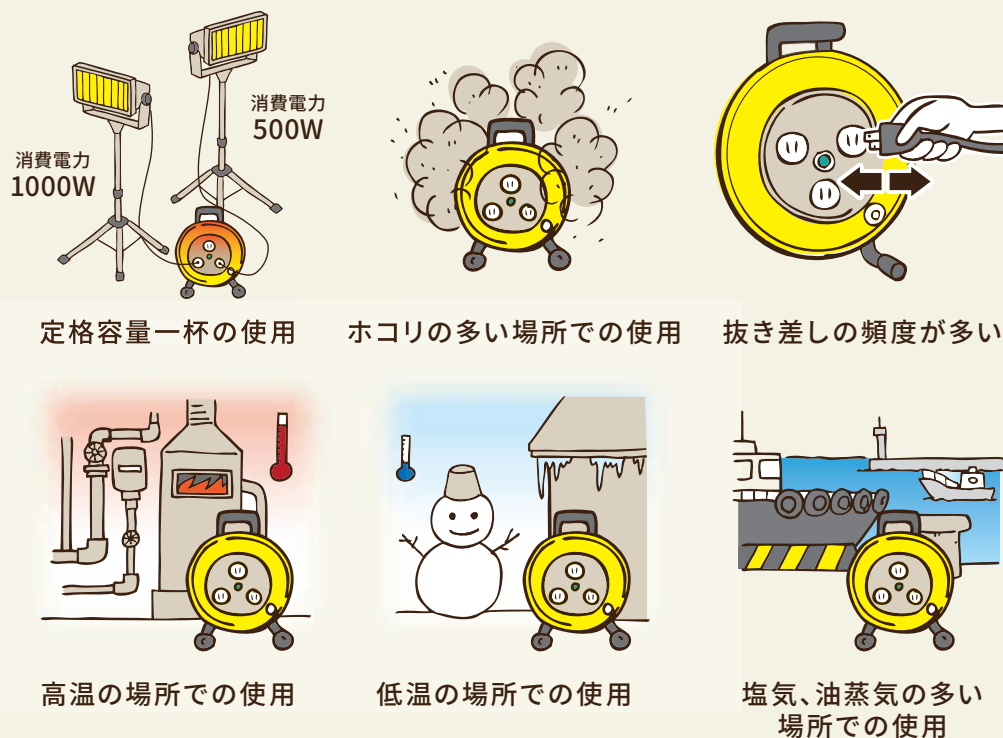
**安全使用の徹底をお願いします。**



故障等修理が必要な場合、専門の知識が必要です。専門の知識を持たない方が修理をしますと、製品が十分に機能しない、また事故やけがの原因となるおそれがありますので弊社までご連絡ください。

# コンセント・プラグ

以下のような場合は短寿命の原因となりますので早期の点検・交換をお願いします。

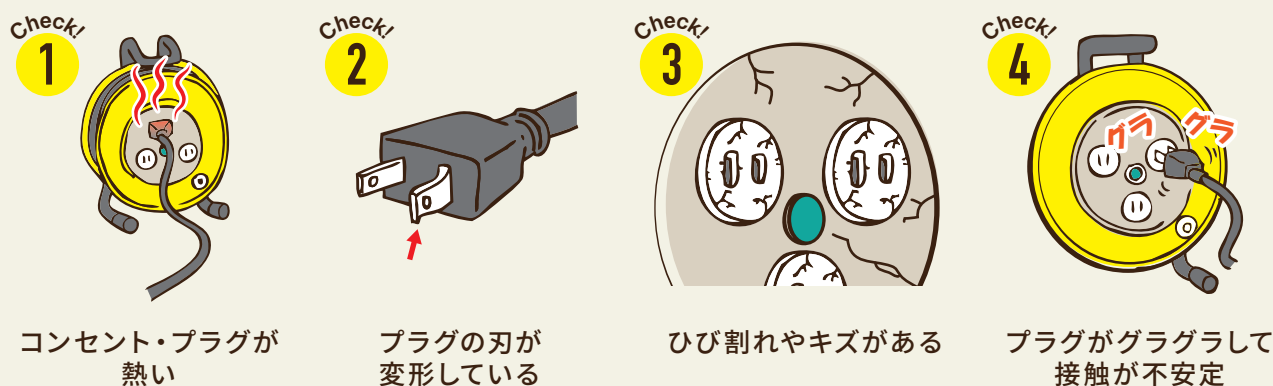


## トラッキング現象に注意!

長時間放置されたコンセントとプラグの間に溜まったホコリに湿気が加わると熱を持ち火花が散るようになり、通電をした際に火災になってしまいます。これをトラッキング現象といいます。対策としては定期的にホコリが溜まってないか確認をして、乾いた布などで掃除を行うと良いでしょう。



長期間保管していて **使用頻度が少なくても、保管環境によってコンセント・プラグの内部金属部品に腐食(サビ)やネジのゆるみ** が発生する場合があります。以下の場合、すぐに使用を中止し、修理を行ってください。



**注意** 故障等修理が必要な場合、専門の知識が必要です。専門の知識を持たない方が修理をしますと、製品が十分に機能しない、また事故やけがの原因となるおそれがありますので弊社までご連絡ください。

**コンセントとプラグは一般的に10年が交換の目安となっていますが、使用頻度や使用環境によって大きく変わり、頻度が高い場合は1年が点検の目安となっています。**

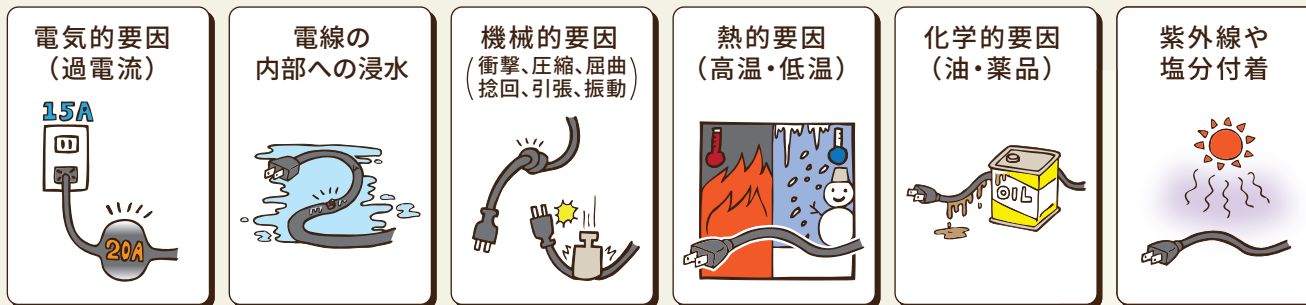
社団法人 日本配線器具工業会より



# 電線

一般の電線の設計上の耐用年数は絶縁体に対する熱的、電氣的ストレスの面から **20~30年を基準** としています。

## 劣化の原因



## 劣化診断

外観の調査、絶縁抵抗試験、絶縁耐力試験を実施してください。

電線の使用状態における耐用年数はその付設環境や使用状況により大きく変化するため使用状況に見合った耐用年数を考える必要があります。(使用頻度が高い場合、1年で劣化する場合があります)

社団法人 日本電線工業会より



# 漏電遮断器

## 更新推奨時期

### 標準使用状態での使用 / 15年

15年未満でも規定の開閉回数を超えたら更新時期です。使用環境が悪い場合は表2を更新の目安としてください。

表1 規定開閉回数

定格電流 (A)	開閉耐久試験条件			過負荷開閉試験条件		
	1時間あたりの動作回数	無通電	通電	試験電流 (A)	開閉回数 (回)	
≤100	120	8500	1500	10000	6	12

テストボタンを押して **漏電遮断器の動作テスト** を必ず行ってください。

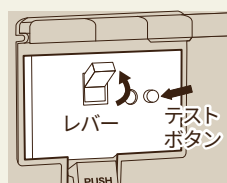


表2 使用環境が悪い状態での使用

環境	具体例	更新時期
亜硫酸、硫化水素、塩分高温等のガスが含まれ、塵埃の少ない場所	地熱発電所、汚水処理場、製鉄、紙、パルプ工場	3~7年
人間が長時間滞在できず腐食性ガス塵埃の特にひどい場所	化学薬品工場、採石場、鉱山現場等	1~3年

**使用頻度が低くても、使用10年以上経過している場合は点検・交換を推奨します。**

社団法人 日本電機工業会より